

島根原子力発電所2号炉 高経年化技術評価ヒアリングコメントに対する回答一覧表

No.	指摘日	資料の該当箇所			コメント内容	コメント者	回答内容	反映先資料	該当頁
		図書名称	該当頁	事象分類					
1	2023年10月4日	島根2号炉 審査会合における指摘事項に対する回答	16	耐震安全性評価	「耐震評価の結果を踏まえ、必要に応じサポート追設による応力低減や配管取替による対策を実施し、耐震性を満足する耐震管理厚さを再設定する」に係る具体的内容について、説明すること。	鈴木参与	配管板厚実測データに基づく余寿命に応じた次回検査時期の設定、対策検討時期等の具体的内容について、当社QMS文書を抜粋し記載を拡充した。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	66~71
								・補足説明資料（耐震安全性評価）	別紙6-56~6-58
2	2023年10月4日	島根2号炉 審査会合における指摘事項に対する回答	4	共通事項	アクセスホールカバーを含むシュラウドサポートのMVT-1点検範囲について、維持規格に基づく点検範囲とJANSIガイドラインの点検範囲を明確にすること。	小嶋調査官	シュラウドサポートの規格要求および点検範囲について記載を拡充した。	審査会合における指摘事項に対する回答	4
3	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	9	電気・計装設備の絶縁特性低下	3つ目矢羽根ではJEAG4623については設計基準事故時が適用範囲であるという記載になっており、4つ目矢羽根については設計基準事故時に重大事故等時含め抽出するという記載になっている。現状では、内容のつながりがわからないため、両者の記載内容を適正化すること。	皆川調査官	設計基準事故時および重大事故等時において機能維持が要求される機器について、各々の抽出条件を明確化し、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	9
								・補足説明資料（電気・計装設備の絶縁特性低下）	3
4	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	14	電気・計装設備の絶縁特性低下	「設計基準事故時環境と重大事故等時環境の厳しい方」とすると適切ではない部分が出てくる（機能要求が設計基準事故時のみのもは設計基準事故時と重大事故等時で比較はしていない）ことから、記載内容を適正化すること。	皆川調査官	重大事故等時に機能維持が要求される機器に対して、新規制基準適合性審査を踏まえ確定した重大事故等時の使用条件に変更していることがわかるよう記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	14
5	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	15,16,45	電気・計装設備の絶縁特性低下 6事象以外の劣化事象	本資料における代表機器と評価書における代表機器の対象が異なることが分かるように記載を適正化すること。	皆川調査官	評価書における代表機器と主な説明事項PPT資料における代表機器が異なるため、主な説明事項PPT資料における代表機器を代表説明機器とし、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	14~16,44
6	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	15,16	電気・計装設備の絶縁特性低下	電気ベネトレーションについては評価書に記載しているものと同様に絶縁機能とパウンダリ機能で重要度をそれぞれ分けて記載すること。	皆川調査官	電気ベネトレーションの重要度について、ベネトレーションとしての重要度、接続機器としての重要度をそれぞれ記載した。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	16
7	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	25	電気・計装設備の絶縁特性低下	長期健全性評価試験条件について、通常運転相当の放射線について試験を行っていないように見えるため、記載を適正化すること。	皆川調査官	通常運転相当の放射線照射試験を行っていることがわかるよう記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	20
8	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	33	電気・計装設備の絶縁特性低下	注記※2の記載では事故時の放射線に対して「2時間分」と記載しているが、補説の事故時の温度プロファイルでは「1時間以内」と記載していることについて、放射線と温度で考慮する時間の整合性を検討すること。	皆川調査官	核計装用電気ベネトレーション接続機器の重大事故等時の動作要求期間（1時間未満）を踏まえ、重大事故等時の使用条件に考慮する期間の整合を図った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	27
								・補足説明資料（電気・計装設備の絶縁特性低下）	12
9	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	57	耐震安全性評価	「ガイドに適合」という記載が適切か検討のうえ、必要に応じ記載を適正化すること。	岡本審査官	審査ガイドの位置付けを踏まえ、ガイドを要求事項とする記載を削除した。また、評価の基本方針として、ガイド等の記載事項を踏まえ評価を実施する記載に見直した。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	55~57,100~103,107,108,118,119
								・補足説明資料（全般）	-
10	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	53他	電気・計装設備の絶縁特性低下 6事象以外の劣化事象	「60年間」と「運転開始後60年」の使い分けを踏まえ、箇条書き2点目の「60年間」を適切に見直すこと。	岡本審査官	「60年間」は評価条件、「運転開始後60年」は評価結果に用いる表現とし、記載の適正化を行った。	高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	20,22,23,26,29,48,51,52
11	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	-	耐震安全性評価	制御棒挿入性評価について、評価結果を追加すること。	日高専門職	制御棒挿入性評価および評価結果について記載を反映した（高経年化技術評価書（別冊）についても補正時に反映する）。	高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	65,83,97

島根原子力発電所2号炉 高経年化技術評価ヒアリングコメントに対する回答一覧表

No.	指摘日	資料の該当箇所			コメント内容	コメント者	回答内容	反映先資料	該当頁
		図書名称	該当頁	事象分類					
12	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	20	電気・計装設備の絶縁特性低下	高圧ポンプモータの放射線照射試験について、記載を適正化すること。	雨夜審査官	高圧ポンプモータの放射線照射試験について、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	30
13	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	41	電気・計装設備の絶縁特性低下	長期施設管理方針として取り下げた事象は色を変えるだけでなく、取り下げた旨が分かるよう記載を適正化すること。	雨夜審査官	長期施設管理方針として取り下げた項目について、取り下げを行った理由および着色部に対する説明を追記し、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	37
14	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	112	耐津波安全性評価	基礎ボルトの腐食（全面腐食）について、耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象への見直しを検討すること。	鈴木参与	取水槽水位計測装置の基礎ボルトの腐食（全面腐食）について、耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象として抽出するとともに、耐津波安全性評価を実施した。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	116~119
								・補足説明資料（耐津波安全性評価）	7,11,13~16,別紙1-5,別紙5
15	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	40	電気・計装設備の絶縁特性低下	評価期間25年のケーブル接続部に対し、運転開始後29年に取替済としていることから、取替期間が評価期間を超過しているように見えるため、記載を適正化すること。	日高専門職	端子台接続の取替周期が10定期事業者検査の周期である旨、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	35
								・補足説明資料（絶縁特性低下）	別紙5-3
16	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	15	電気・計装設備の絶縁特性低下	難燃PNケーブル黄色着色の意図を確認し、必要に応じ適正化すること。	藤川審査官	黄色着色部の適正化（難燃PNケーブルの黄色着色部を削除）を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	15
17	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	28,32他	電気・計装設備の絶縁特性低下	評価結果の記載がないため、記載を適正化すること。	藤川審査官	難燃PNケーブルおよび難燃FNケーブルの長期健全性評価結果に対して、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	20,22,23,26,29
18	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	全般	全般	タイトルと記載内容の整合を図ること。	雨夜審査官	タイトルと記載内容の整合を図った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	全般
19	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	33	電気・計装設備の絶縁特性低下	重大事故等時における核計装用電気ベネトレーションの動作要求期間が1時間未満であることを重大事故等時の事故シナリオを踏まえ、説明すること。	岡本審査官	核計装用電気ベネトレーション接続機器の重大事故等時の動作要求期間は、重要事故シーケンス等から、1時間未満である旨、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	27
								・補足説明資料（絶縁特性低下）	12
20	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	11	電気・計装設備の絶縁特性低下	計測制御設備について、重大事故等時に機能要求の機器が無い理由を説明すること。	塚部調整官	計測制御設備のうち重大事故等時に機能要求のある機器は、絶縁特性低下が想定される部位を定期取替品としており、評価対象外としている旨、記載の適正化を行った。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	11
								・補足説明資料（絶縁特性低下）	4

島根原子力発電所2号炉 高経年化技術評価ヒアリングコメントに対する回答一覧表

No.	指摘日	資料の該当箇所			コメント内容	コメント者	回答内容	反映先資料	該当頁
		図書名称	該当頁	事象分類					
21	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	50,51他	電気・計装設備の絶縁特性低下 6事象以外の劣化事象	マスキング範囲について、適正化すること。	塚部調整官	マスキング箇所の整合を図るとともに、可能な限りマスキング箇所の削減を実施した。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	16,31,44,46,48,49,51
								・補足説明資料（絶縁特性低下）	13,別紙8-16～17,別紙9-5,8,11,13
								・補足説明資料（6事象以外の劣化事象）	5～8,別紙1-2～4,別紙2-1～2,別紙3-6
22	2023年10月4日	島根原子力発電所2号炉（30年目）高経年化技術評価（補正）に係る主な説明事項	67	耐震安全性評価	「40年目想定厚さ」について、60年ではない理由（先行他社との差異を含む）の考え方を説明すること。	塚部調整官	耐圧上の必要厚さまたは60年時点での想定厚さを用いた耐震評価を実施したところ、耐震評価が成立しないモデルがあったことから、保守的な管理値として「40年想定厚さ」を含めた管理値として「耐震管理厚さ」を設定している。 耐震管理厚さ設定の経緯について記載を拡充した。	・高経年化技術評価（30年目）の補正に係る主な説明事項	66～71
								・補足説明資料（耐震安全性評価）	別紙6-56～6-58
23	2023年10月4日	島根2号炉 審査会合における指摘事項に対する回答	2	共通事項	「運転経験はなかった」について、最新知見の反映状況等も踏まえ記載を適正化すること。	岡本審査官	最新の技術的知見の反映状況等を踏まえ、記載を適正化した。	・審査会合における指摘事項に対する回答	2
								・補足説明資料（共通事項）	11